

学校評価は、経営計画や教育計画に基づいて行われる教育活動がどの程度機能しているのかを評価するために行います。その結果から、学校が抱えている課題を明らかにし、学校改善を進め、生徒をよりよく育成するとともに、学校の経営責任・説明責任を果たすためのものです。

学校評価には「自己評価」と「学校関係者評価」があります。「自己評価」は、教職員がアンケート（生徒・保護者・教員を対象に行うアンケート）などの結果を基に行います。「学校関係者評価」は、学校関係者（地域住民や PTA 学級委員）が自己評価の評価項目の内容、評価基準、評価結果等について、総合的に評価するものです。

静岡大学大学院教授であつた山崎保寿先生のご指導を受け、経年変化を改革に活かすため、平成 27 年度からは項目・基準をほぼ同じにして実施してきましたが、令和 2 年度は、より指導改善につながる形を模索するため質問項目、評価の仕方を大きく変更致しました。

1. 「自己評価」の回答基準、評価基準は以下のとおりです。

・アンケートの回答は 5 段階 「よくできた：5 ～ できなかった：1」
で行い、その平均値をもって評価ポイントとする

2. 保護者アンケート項目は、8 つの指導項目についてそれぞれ具体的なアンケート項目について、自己評価と同じ 5 段階で評価していただきました。

3. 学校関係者評価委員会は、昨年度はコロナ禍の影響もあり、年間 2 回実施し（例年 3 回）、自己評価について評価、助言をいただきました。自己評価と同じ 5 段階で評価していただきました。

その結果、次のようなまとめを行い、来年度の教育活動に活かすことにしました。（詳細は次頁）

領域	評価項目	自 己 評 価	学校関係者評価（評価）
生徒指導	生徒育成 規律・品位	集団行動への意識を高く保てた。品位について教員と生徒の意識の差が縮まりつつある。全教員による丁寧な指導を実施していく。	正しい挨拶について生徒と教員の共通認識ができつつある。(4.33)
	安全教育 安全教育・健康	防災訓練に加えコロナ対応にも注力した。安全な生活基盤づくりに努力する。	防災・安全への学校の配慮が分かり調査は妥当。(4.17)
人間性の育成	人間関係づくり 社会性	教員が連携し生徒のトラブル早期解決を図っている。生徒にも姉妹ピア活動により人間関係力が育ちつつある。	姉妹活動の成果が数値に表れている。いじめへの迅速な初動の継続を望む。(4.42)
	主体性の育成 公共心・学校行事・部活動	コロナの制約の中で学園美化の精神・リーダーシップが育った。部活大会中止などの影響で主体性獲得に工夫が必要な面もあった。	部活所属の有無による生徒の主体性の違いを調査してはどうか。(4.33)
学習と進路	意欲向上 内発的動機・国際教育	海外研修はできなかったが静岡県グローバル研究校指定により新たな取り組みができた。	指定校として新年度の更なる工夫を期待する。(4.17)
	学力向上 教科指導・学力向上	新たな数値目標を設定、初年度後期は向上したが、生徒の基礎学力定着・学力向上のため教員の更なる努力の必要性を認識している。	学力強化の対策を講じ、教員評価が向上するよう組織全体の努力を求む。(3.92)
	指導力向上 進学実績・教科課程・教員研修・ICT 教育	コロナ休校時にはオンライン等の対応ができた。新年度は生徒の端末の効果的な利用など ICT 機器の研修を強化する。	コロナ禍で ICT 活用が進んだのは良かった。本質的な活用への工夫を期待。(4.33)
保護者・地域との連携	保護者地域との連携 生徒育成・活動理解・広報	コロナ禍により PTA 行事の中止やオンライン開催もあった、地域との接点が激減したが、新年度は ICT 活用も含め様々な手段を検討していきたい。	保護者と学校との接点激減が残念。学校活動や西遠の魅力を保護者や地域に伝える工夫を望む。(3.83)

令和2年度 学校評価		建学の精神	婦人の中に未来の人は眠れり			
		校訓	典雅 莊重（強く 正しく 美しく）			
		教育目標	未来を拓く女性の育成	令和2年度結果(評価は5段階)		
領域	目 標	評 価 項 目	達 成 目 標	前期 評価	総合 評価	関係者 評価
生徒指導	Ⅰ 生徒育成	(1)規律	①【教員の判断】規則・時間を守り規律ある集団生活をおくる指導	4.20	4.24	
			②【生徒の判断】規則・時間を守り、規律ある集団生活をおくる	4.30	4.30	
		(2)品位	①【教員の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣いの指導	3.59	3.83	4.38
			②【生徒の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣い	4.33	4.34	
			①【教員の判断】適切な挨拶の指導	3.66	3.83	
			②【生徒の判断】相手や状況に応じた、適切な挨拶	4.12	4.09	
	Ⅱ 安全教育	(3)安全教育	①【教員の判断】安全・防災の意識の向上指導	4.05	3.93	
			②【生徒の判断】非常時に取る行動の理解	4.06	4.09	4.23
		(4)健康	①【教員の判断】健康を向上するための連携した指導	4.24	4.00	
人間性の 育成	Ⅲ 人間関係 づくり	(1)社会性	①【教員の判断】人間関係把握・適切な対処	4.24	4.15	
			②【生徒の判断】互いに高め合い、前向きな問題解決	4.23	4.23	4.46
			①【教員の判断】リーダーシップとフォロワーシップの育成	3.83	4.17	
			②【生徒の判断】姉妹ピア活動への積極的な参加	4.11	4.13	
	Ⅳ 主体性の 育成	(2)公共心	①【教員の判断】姉妹掃除を含む校内美化の指導	4.00	4.12	
			②【生徒の判断】校内美化を意識した掃除への取り組み	4.40	4.43	
		(3)学校行事	①【教員の判断】行事を通して21世紀型スキルを身に付させる指導	3.95	4.02	4.38
			②【生徒の判断】行事を通した主体的な取り組みと成長	4.13	4.11	
		(4)部活動	①【教員の判断】部活動の目標を設定と適切な運営・指導	3.63	3.49	
			②【生徒の判断】部活動への目標をもった取り組み・成長	4.42	4.28	
学習と 進路	Ⅴ 意欲向上	(1)意欲向上・ 内発的動機	①【教員の判断】将来を見据えた進路の研究と指導	3.88	3.93	
			②【生徒の判断】自分の将来や進路について考える	4.14	4.23	
		(2)国際教育	①【教員の判断】国際社会への関心を持たせる働きかけ	4.05	3.85	4.23
			②【生徒の判断】将来留学してみたい	3.25	3.21	
	Ⅵ 学力向上	(3)教科指導	①【教員の判断】基礎学力を向上させる指導	3.54	3.49	
			②【生徒のデータ】学力診断合格率	3	3	
		(4)学力向上	①【教員の判断】学力向上感をもたせる指導	3.41	3.41	
			②【生徒のデータ】GTZ:B2以上の生徒の割合	1	2	4.00
		(5)進学実績	①【教員の判断】数値目標を見据えた学習指導	3.39	3.51	
			②【生徒のデータ】GTZ:A以上の生徒の割合	1	2	
	Ⅶ 指導力向上	(6)教科課程	①【教員の判断】教科課程の振り返り・見直し・実践	3.83	3.95	
		(7)教員研修	②【教員の判断】研修を通した指導力の向上	3.73	3.78	4.38
		(8)ICT教育	①【教員の判断】ICT機器を活用した効率化した学習指導	4.39	4.24	
			②【生徒の判断】ICT機器の利用による理解の深まり	3.84	3.79	
保護 の連・ 携地域 と	Ⅷ 保護者連携	(1)生徒育成	①【教員の判断】生徒の成長のための保護者と学校の連携	4.10	3.95	
			②【保護者の判断】学校と連携した教育への取り組み	-	3.68	
		(2)活動理解	①【教員の判断】保護者に教育活動を伝える取り組み	3.83	3.85	3.92
			②【保護者の判断】学校・学年・クラスの教育活動理解	-	3.83	
	Ⅸ 地域連携	(3)地域連携	①【教員の判断】地域に、学校や生徒の取り組みを理解	3.12	2.63	